

目的 前報で、普通体型は、小柄体型と比較して「明るい」「派手な」イメージであった。そして共通したイメージとして、縞が太いほど「はっきり」という結果を得た。今回は、前報同様に、カラーシミュレーター（676RC）を用いて普通体型と大柄体型における縞柄の太さと色彩の変化について、SD法及び一対比較法によるイメージ計量を行った。その結果ある程度説明できる結果を得たので報告する。

方法 縞柄（白黒）の「太縞」と「中太縞」の縦横のワンピースを制作し、カラーシミュレーターで縞の色をおのおの、赤、紫、緑、青、黄、ピンク、茶、に色変換し、計64種類を刺激として被服学科の女子大生126名を被験者としてSD法と一対比較による調査を体型別に行った。SD法に用いた尺度は15尺度で各々7段階とした。一対比較法は「動的」「太った」「都会的」の3つのイメージを2種類の縞柄の組合せにより色ごとに考察した。

結果 SD法によるイメージ計量の結果、縞が太いほど普通体型も大柄体型もはっきりのイメージとなり、色については、黄は明るい、茶は田園的イメージとなった。また一対比較法においては太さが太いほど「動的」イメージが、普通及び大柄体型の共通したイメージとして目立った。普通体型は大柄体型より、黒の「太縞」の縦においてははっきり、強いイメージが強く、大柄体型では普通体型に比べ黄が派手のイメージが目立った。なお、両体型と前報の小柄体型とも比較してみると、普通体型は共通したイメージが弱かった。